

宇宙物理学教室 恒星グループ

加藤太一 tkato@kusastro.kyoto-u.ac.jp

野上大作 nogami@kwasan.kyoto-u.ac.jp

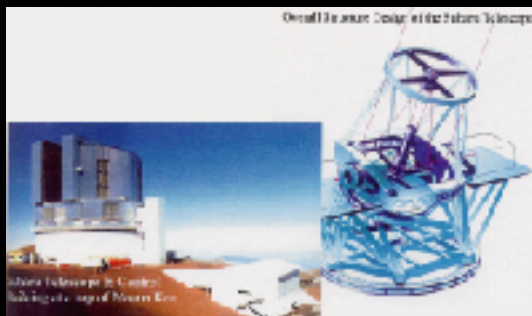
主として可視域における分光、測光、偏光観測に基づいて恒星大気の構造や化学組成、恒星大気中の活動現象、恒星風の研究、激変星やブラックホール連星の降着円盤における変動およびガンマ線バーストなどの突発天体の研究を行っている。観測にはすばる望遠鏡、岡山天体物理観測所や4号館屋上の望遠鏡などを使用している。

系外惑星の研究

最近の研究では太陽以外の恒星にも惑星が存在することが知られてきた。すばる望遠鏡などを使用してそれらの恒星の元素組成を調べて惑星形成の起源に迫ろうとしている。

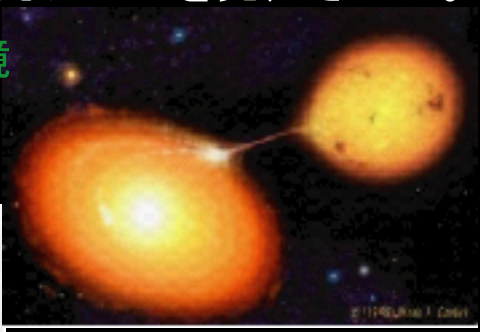
突発天体の研究

天体の中にはある日突然明るくなるものがある。このような天体を小型望遠鏡で観測する。海外のアマチュア天文家と協力して24時間体制で天体の変動を追跡する国際研究チームを発足させた。

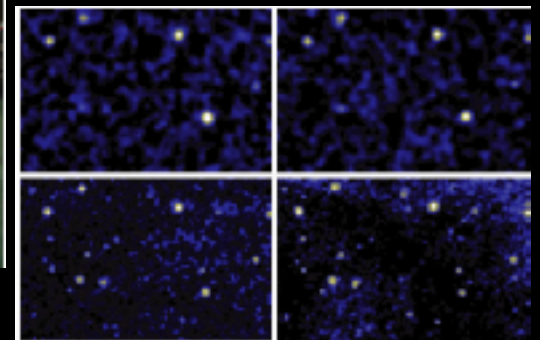


屋上30cm望遠鏡
(世界一のコストパフォーマンスを誇る望遠鏡)

すばる望遠鏡(口径8.2m、1枚鏡としては世界最大)



突発天体(概念図)



ガンマ線バーストの観測に成功

オープンラボ

スタッフによるミニ講演会

時間 : 11:15 ~ , 14:00 ~

場所 : 4号館 4階講義室

屋上 40cm望遠鏡見学ツアーあり